

令和7年度

県

税

の



県税イメージキャラクター
『タツ君』

し

お

り



広島港クルーズターミナル

はじめに

広島県は、県民の皆様が「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と、心から思える広島県の実現に向けて取り組んでいます。

皆様に納めていただく県税は、この基本理念を実現するための重要な財源です。「県税のしおり」は、県税の仕組みや使われ方など、そのあらましを県民の皆様に向けて紹介しています。

多くの方にご覧いただき、県税をより身近なものと感じ、理解を深めていただければ幸いです。

《表紙写真 広島港宇品地区クルーズターミナル》

多くのクルーズ船が寄港している広島港宇品地区において、国際交流人口の拡大、地域の活性化、クルーズ船受入環境の充実に図るため、クルーズターミナル及び周辺整備を進め、令和6年3月に供用を開始しました。

令和6年には、過去最高となる62回のクルーズ船の寄港があり、多くのお客様をお迎えしました。新しいターミナルは待合棟とCIQ棟で構成され、クルーズ船の乗客・クルーがくつろいだり、円滑な出入国手続きが可能となっています。

また、待合棟の屋上に設けた展望スペースからは、クルーズ船の歓迎・見送りや、瀬戸内海の島々の景観を楽しむことができ、広島県の海の玄関口として、港の賑わいに貢献しています。